



「官民による若手研究者発掘支援事業における 研究開発テーマの実用化に向けたマッチング支援」

公募説明資料

2020年6月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション推進部

「官民による若手研究者発掘支援事業」の概要①

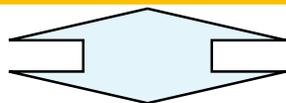
■ 背景(産業技術開発の現状と課題)

産業界

- 世界的に技術革新スピードが加速している(破壊的イノベーションの進行)
- 社会変化に基づくビジネスモデルの変化(多角化・新領域開拓のニーズ)



異分野を含めた外部リソースから、創造的な基礎～応用研究シーズの活用が必要



現状

我が国における企業の総研究費に占める大学への研究費の拠出割合(約0.4%)は、主要国(例:米…約1.0%、独…約3.7%*)と比較して低く、産業界が大学の機能・リソースを十分に活用できていない状況

* OECD「Research and Development Statistics」に基づき経済産業省算出

大学等

- 多くの公的研究資金において短期的成果が求められる中で、実績の少ない若手研究者が自律的に研究開発を実施するための環境の整備が十分でない面がある



若手研究者の創造的な基礎～応用研究シーズを、社会・産業のニーズに合致させるための支援が必要

官民が協調して大学等の有望な若手研究者・シーズ研究を発掘し、これを企業の研究開発や事業活動に早期に結びつけるエコシステムを構築することで、

- ⇒ 世界最高水準のイノベーションを実現
- ⇒ 我が国の地域レベルでのイノベーション創出
- ⇒ 若手研究者が大学等と企業の両方へキャリアを模索すること

等が期待される

「官民による若手研究者発掘支援事業」の概要②

■ 目的

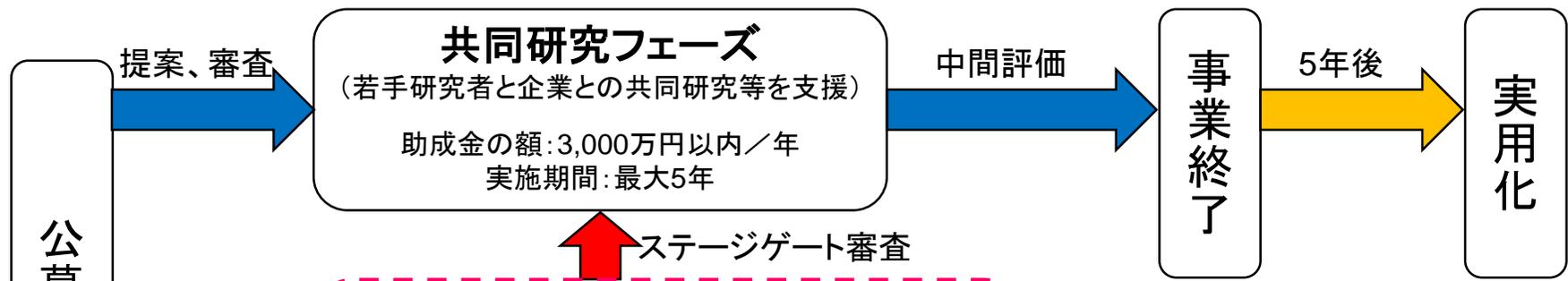
実用化に向けた目的指向型の創造的な基礎又は応用研究を行う**大学等**※1に**所属する若手研究者**※2を発掘し、若手研究者と企業との共同研究等※3の形成を促進する等の支援をすることにより、次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、我が国における新産業の創出に貢献することを目的とする。

※1 国公立研究機関、国公立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、並びに国立研究開発法人、独立行政法人、地方独立行政法人及びこれらに準ずる機関

※2 事業の開始年度の4月1日時点において、博士後期課程を修了、又は大学等の博士後期課程に在籍している者で、かつ45歳未満の研究者

※3 日本国内に登録されている企業(その事業活動に係る主たる技術開発及び意思決定のための拠点を日本国内に有するもの)と、実用化に向けた取り組みとして共同研究、受託研究、博士後期課程を対象とした研究インターンシップ等を行うもの

■ 事業スキーム

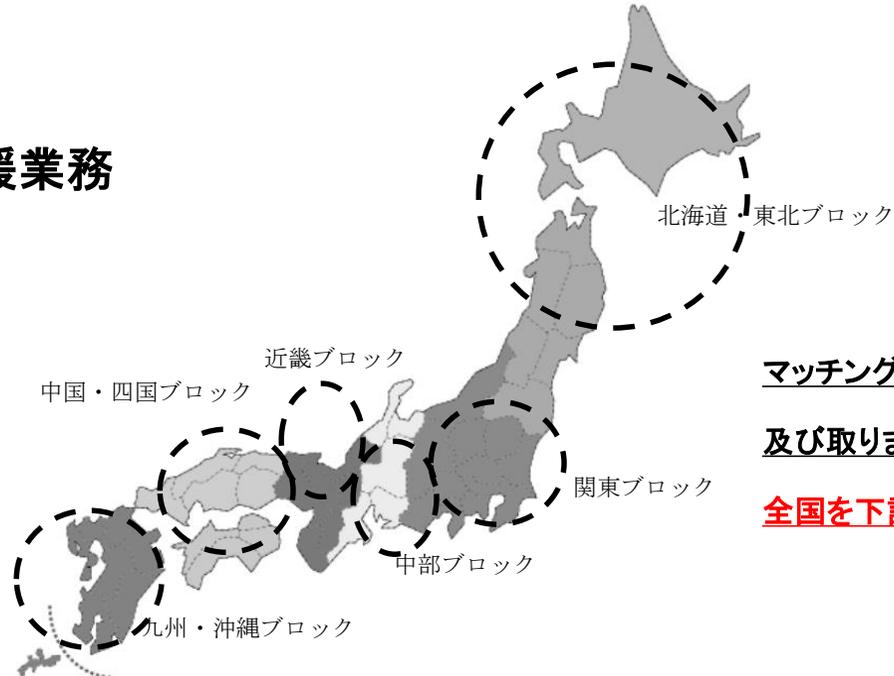


今回公募する業務では、マッチングサポートフェーズにおいて研究開発提案を行った若手研究者に対して、企業との共同研究等を形成するためのマッチング支援を実施します。

業務内容

今回公募する業務では、以下の項目について実施します。

- ① イベント業務
- ② マッチング支援業務
- ③ その他



マッチングイベント等の開催、企業の関心事項・要望等の収集及び取りまとめ等、効率的に業務を遂行することを目的に、**全国を下記6ブロックに分けます。**

★業務の実施については、全国を6ブロックに分け、各地域ブロックにおいて実施することとしますが、若手研究者と企業とのマッチングは同じ地域ブロック内のみに留まらず、ブロック間の垣根を越えたマッチングを目指します。

★業務の実施にあっては、オープンイノベーションの創出・加速が期待される新しいマッチング手法を多面的に検討し、効果的に取り組むこととします。さらに、適宜NEDOと協議の上進めることとします。

★昨今の社会情勢を踏まえ、若手研究者及び企業が一堂に会するイベントの開催が困難な状況を想定し、例えばインターネット配信等を活用したオンラインシステム、プレゼンテーションの動画配信等の方法・方式も検討してください。

業務内容(詳細①)



仕様書 P.2-3

① イベント業務

若手研究者が有する有望な技術シーズを広く企業に周知することで、若手研究者と企業との共同研究等の形成に繋がる機会の創出を行う。

a. 企業からの実用化検討書収集のためのイベントの開催

→助成事業者からの研究開発提案(NEDOから別途情報を提供)を基に、技術シーズを広く企業に周知し、企業から実用化検討書を収集するためのイベントを開催する。**(計 6回程度)**

※当該イベントにおいては、助成事業者による技術シーズのプレゼンテーション等は行わず、本業務に採択された委託事業者(マッチングサポート委託機関)により技術シーズを周知する。

b. マッチングイベントの開催

→企業に向けた助成事業者及びマッチング支援候補者による技術シーズのプレゼンテーション、助成事業者及びマッチング支援候補者と企業との個別の意見交換等を行うマッチングイベントを開催する。**(計 12回程度)**

※関東、中部、近畿ブロック等については、国際イベント等の既存の大型イベントの活用(既存イベント内での開催)も検討すること。

c. イベントを活用した情報収集・情報発信

→上記a、bのイベントを活用し、企業が大学等(若手研究者)に求める共同研究等の動向等の情報の取りまとめを行うとともに、「官民による若手研究者発掘支援事業」に係る事業制度、公募情報等を大学等及び企業へ周知する。

※企業ニーズを鑑み、本助成事業に未応募の若手研究者の積極的な応募を促す等。

業務内容(詳細②-1)



仕様書 P.4

② マッチング支援業務

若手研究者が有する有望な技術シーズに対する企業の関心事項・要望等の取りまとめを行い、若手研究者と企業との共同研究等の形成に向けた橋渡しを行う。

a. 企業への技術シーズの周知

→マッチングサポートフェーズに提案のあった技術シーズを広く企業に周知するため、全ての研究開発提案の内容をシーズリストとしてまとめ、企業が容易に閲覧できるウェブサイトの作成・掲載に協力する(10月～11月頃の実施を想定)。

b. 企業の関心事項・要望等の取りまとめ

→マッチングイベントや技術シーズを掲載したウェブサイトを活用して企業の関心事項・要望等を収集し、収集した情報を取りまとめ、マッチングサポートフェーズに提案のあった技術シーズと併せてデータベース化し、NEDOに報告する。

但し、企業からの実用化検討書収集のためのイベント(①のa)の対象は助成事業者のみとし、実用化検討書収集後、収集した情報を取りまとめ、NEDOに報告する。

※企業からの実用化検討書の収集にあっては、NEDOが提供する助成事業者からの研究開発提案と同数以上(研究開発提案1件につき、1件以上の実用化検討書)を収集すること。

業務内容(詳細②-2)



仕様書 P.4-5

② マッチング支援業務

c. 実用化検討書を提出した企業との連絡調整業務

→助成事業者の技術シーズに対して実用化検討書の提出を行った企業に対し、NEDOから提供する情報(助成事業者の研究開発成果等)をフィードバックするとともに、当該情報に対する企業の要望等の収集(ヒアリング)を行う。

d. 伴走型の若手研究者フォローアップ支援 関心事項・要望等

→提案者の技術シーズに対して関心を示した企業と提案者との連携、意見交換等を推進し、共同研究等の形成に向けた助言・提言を行う。

特に助成事業者に対する共同研究等の形成に向けた助言・提言については、例えば企業の関心事項・要望等の解釈と研究開発計画への反映指導、研究開発出口イメージの提案(PRする企業分野・業界の選定)等を想定している。

※共同研究等の形成に向けた助言・提言については、必ず提案者が所属する機関の産学連携部門等との協力の下実施すること。

③ その他

a. 各種情報の整備

→「官民による若手研究者発掘支援事業」においてNEDOが助成対象とした若手研究者(共同研究フェーズ、マッチングサポートフェーズの両方)の所属する大学等、共同研究フェーズにおいて大学等と共同研究等を実施する企業、マッチングサポートフェーズにおいて実用化検討書を提出した企業の産学連携に係る相談窓口(連絡先)を整備する。

b. 集合研修等の開催

→若手研究者を対象とした共同研究等の形成に向けた研修(成功事例の紹介等)、産学連携・オープンイノベーション講習会等を合わせて**3回程度**開催する。

助成事業者及びマッチング支援候補者の共同研究等の形成に向けた研修・講習会等(①のbマッチングイベントを含む)への参加に係る旅費精算のための事務業務も行うこと。

c. 人材の確保・配置

→若手研究者と企業との共同研究等を推進するため、若手研究者、企業と適切に意見交換ができる人材(相談窓口)を各地域ブロックに配置する。

d. NEDOが実施する会議等への参加

→NEDOが川崎及び各地域ブロック等において開催する会議、委員会等へ参加する(**2回程度**を想定)。

マッチング支援フロー

「官民による若手研究者発掘支援事業」
マッチングサポートフェーズに提案 (提案者)

研究開発計画等の工夫により
企業との共同研究等の形成に
繋がる可能性のあるもの

<マッチング支援内容：パターン①>
★助成対象 (助成事業者)

<マッチング支援内容：パターン②>
★助成対象外 (マッチング支援候補者)

<マッチング支援内容：パターン③>
★助成対象外

技術シーズのウェブサイト掲載 対象：全ての提案者（最大300名程度想定）

マッチングイベント等（研修・講習会等含む）への参加
対象：助成事業者、マッチング支援候補者（最大120名程度想定）

伴走支援（個別の助言・提言等）
対象：助成事業者（最大50名程度想定）

支援実施項目

実施期間・予算規模

■ 実施期間

NEDOが指定する日から2021年9月30日

■ 予算規模

200百万円を上限とする(各地域ブロックで開催するイベント等に係る費用を含む)。

なお、ウェブサイト(技術シーズリスト、産学連携相談窓口)の作成に係る費用は含むが、ウェブサイトの管理はNEDOにて行うため、管理費は含まない。

また、助成事業者及びマッチング支援候補者のマッチングイベント等(共同研究等の形成に向けた研修・講習会等含む)への参加に係る旅費(マッチングイベント:120人・回×1万円+研修・講習会等:120人・回×1万円=2.4百万円程度の実費相当額)も必要概算経費に積算すること。

応募要件



公募要領 P.3

応募の対象は、下記の全ての要件を満たすことのできる、単独ないし複数(連名)で受託を希望する企業等とします。

なお、応募にあっては、**全体(全国)提案のみを対象とします。各地域ブロック単位での部分提案は認められません。**

- a. 複数(連名)で提案する場合、当該応募要件を満たすことのできる体制を構築すること(再委託、外注を含む)。
- b. 全国の各地域ブロックに所在する大学等、企業の情報に精通していること。また、大学等及び企業の産学連携部門等と連携できること。
- c. これまでに大学等、企業のマッチング支援等を行った実績があること。
- d. マッチング支援を実施する複数の機関を本業務の実施体制に加えるなどにより、多様な技術シーズ及び企業ニーズにも対応する効率的なマッチング手法を検討し、実践するための工夫を行うこと。
- e. 当該業務の遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- f. 当該業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、かつ、資金等について十分な管理能力を有していること。
- g. NEDOが業務を推進する上で必要とする措置を、適切に遂行できる体制を有していること。
- h. 個人情報を提供するにあっては、個人情報保護の観点から、個人情報の取り扱いに関する社内規程等が整備されていること。

スケジュール(予定)



公募要領 P.4

<公募～採択決定>

2020年6月17日(水)

公募開始

2020年7月17日(金)

公募締切(12時必着で郵送)

2020年7月下旬～9月上旬 採択審査(書面審査)

※必要に応じてヒアリングや追加資料の提出を求める場合があります

2020年9月中旬

採択通知、事業開始

<事業>

2020年9月中旬

事業実施計画の詳細協議

2021年9月30日(木)

事業終了、成果報告書提出

提出書類

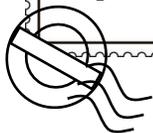
提案書 ※「提案書類作成要領」を参照して作成してください	正1部、写2部
提出書類受理票	正1部
利害関係の確認について	正1部、写2部
再委託理由及びその業務内容	正1部、写2部
ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況について	正1部、写2部
会社経歴書(パンフレット、定款等)	正1部
直近の事業報告書及び直近3年分の財務諸表	正1部

郵送

2020年7月17日(金)12時必着

※FAX及びE-mailでの提案書類の提出は受け付けられません
※持参の場合は、16階「総合案内」の指示に従ってください

切手



〒212-8554

神奈川県川崎市幸区大宮町1310

ミュージア川崎セントラルタワー 20階

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

イノベーション推進部

「官民による若手研究者発掘支援事業における研究開発
テーマの実用化に向けたマッチング支援業務」担当 宛

委託先の選定

■ 審査基準

下記の審査基準に基づき、提案書類を審査します。

- a. 業務の目標がNEDOの意図と合致していること。
- b. 提案する方式・方法等に工夫があり優れていること。
- c. 業務を実施するにあたっての課題とその解決に向けた取り組み内容が明確であること。
- d. 当該業務に関連する実績を有すること。
- e. 業務の実施計画(実施体制、人員等を含む)が適切であること。
- f. 業務の経済性が優れていること。
- g. 経営基盤が確立していること。
- h. 委託業務管理上NEDOの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。

■ 提案に関する注意

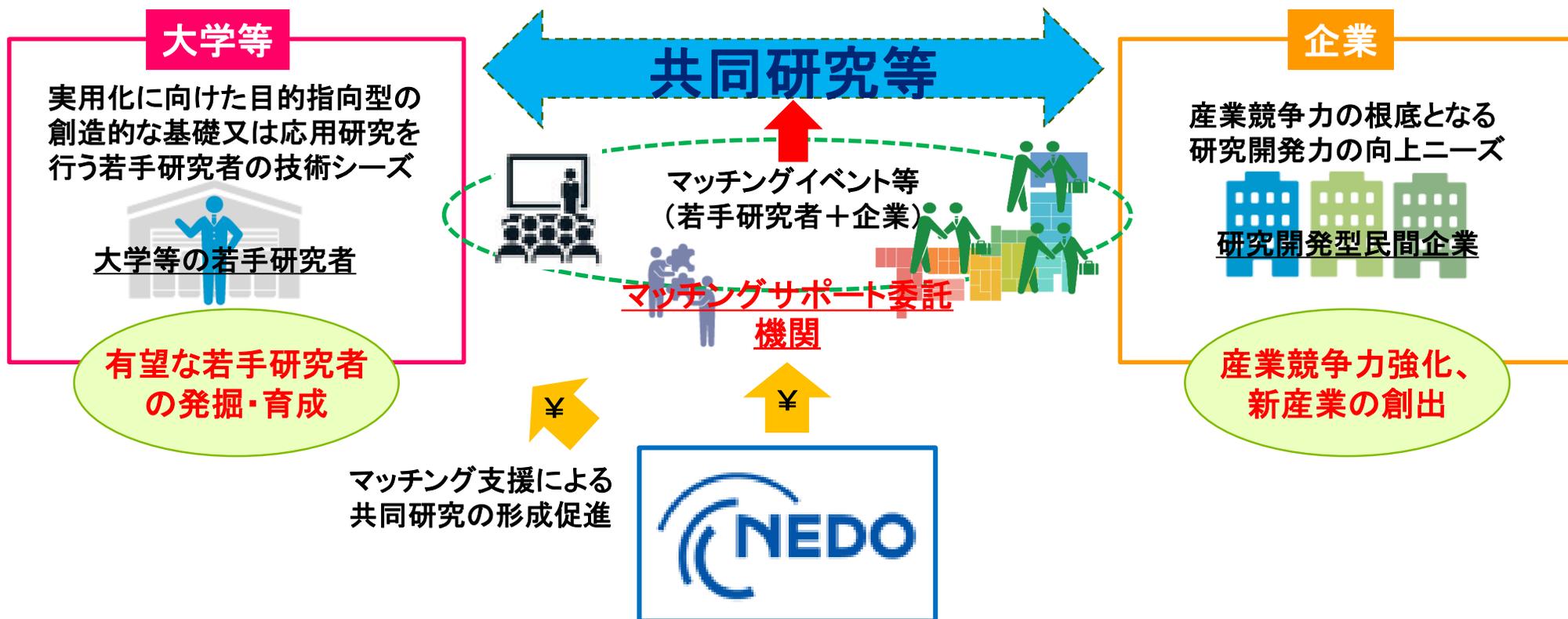
- ① 連名で提案を行う場合（委託予定先となる機関が複数ある場合）は、その全機関が連名にて申請してください（提案者が複数である場合であり、再委託先、外注先のことではありません）。
- ② 連名で提案する場合は、連名で提案する機関の中からNEDOとの連絡窓口となる代表機関（応募連絡先の機関）を定め、提案書に代表機関の応募連絡先が分かるように記載してください。
- ③ 本業務の一部を再委託する場合は、調査委託契約約款に記載の関連する条項（再委託の額の制限等）を遵守する必要があります（再委託の額は、NEDOと委託先との契約金額の50%未満です）。
- ④ 委託先の選定に係る審査は、公募要領「6-2. 審査基準」に基づき、受理した提案書類を審査しますが、必要に応じてヒアリングや追加資料の提出等を求める場合があります。
- ⑤ 提案書類の作成については、「提案書類作成要領」を参照して作成してください。

【参考】マッチングサポートフェーズについて①

■ 事業内容

企業との共同研究等の実施を希望する若手研究者から研究開発の提案を募集し、企業との共同研究等の機会を創出するためのマッチング支援*を実施することで、共同研究フェーズにおける企業との共同研究等の実施を目指します。

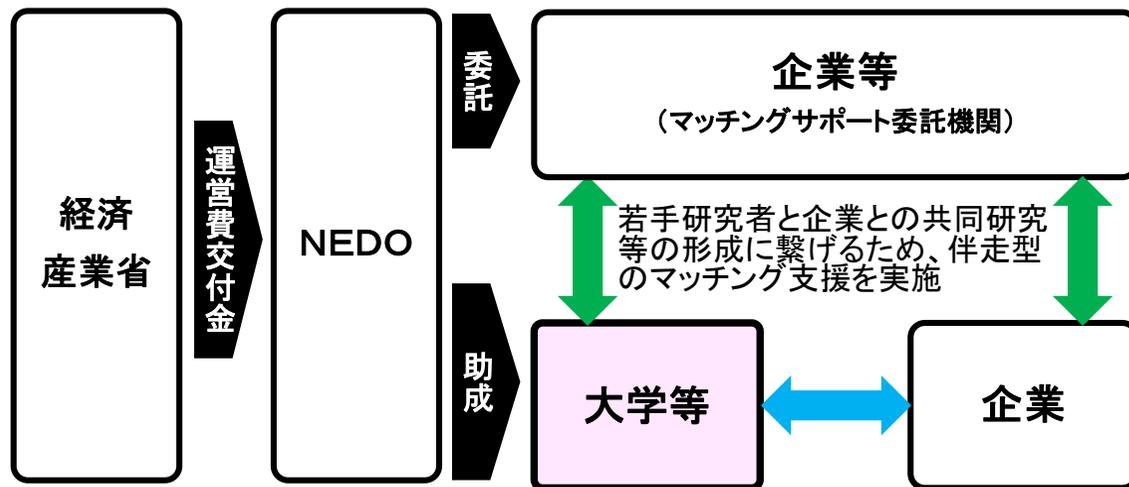
※NEDO及びNEDOがマッチング支援業務を委託するマッチングサポート委託機関により実施する、伴走型のフォローアップ等を予定。



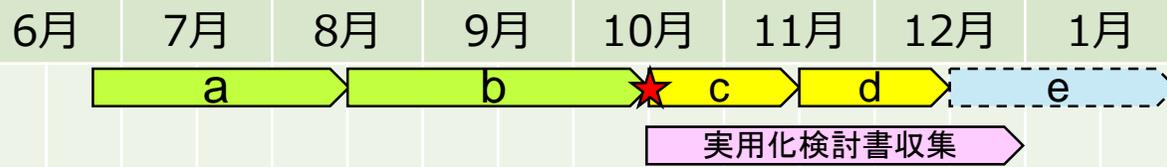
【参考】マッチングサポートフェーズについて②



■ 事業スキーム及びスケジュール



2020年度 スケジュール (予定)



- a. 公募期間
- b. 採択審査
- ★ 採択決定
- c. 交付申請書提出
- d. 交付決定
- e. 事業開始

➤ 採択決定された提案については、NEDOから提案者に通知します。不採択の場合も、不採択理由を添えてその旨を通知します。なお、通知の時期は、2020年10月中旬～下旬を予定しています。

- 応募を受け付けた全ての提案について、マッチング支援を目的として個人情報以外の提案内容をNEDOウェブサイトに掲載し、技術シーズを広く企業に周知します。
- 採択決定された提案を対象として、マッチングサポート委託機関が実施する周知活動等により、企業からの実用化検討書を収集します(2020年10月中旬～12月下旬頃に収集予定)。
- 交付決定後、マッチングイベント等(共同研究等の形成に向けた研修・講習会等含む)への参加、助成事業の推進に係る助言・提言等の、NEDO及びマッチングサポート委託機関によるマッチング支援を実施します。
- 助成対象外の提案についても、技術シーズのNEDOウェブサイト掲載の他、NEDO及びマッチングサポート委託機関による企業との共同研究等の機会を創出するためのマッチング支援を実施します。

■ 対象事業

産業技術分野及びエネルギー・環境分野の目的指向型の創造的な基礎又は応用研究で、産業界が期待する研究開発であり、研究開発の成果が産業に应用されることを目的とし、今後企業との共同研究等を目指すもの。

但し、「医薬・創薬分野、医療機器分野※」に限定した応用を目指す研究開発提案は対象外。

※医薬品や医療機器として、審査・承認を受けることを前提としたもの

■ 助成対象費用

当該助成事業に必要な経費のうち、「官民による若手研究者発掘支援事業費助成金交付規程」に定める直接経費及び間接経費の範囲とする。

なお、マッチングイベント等（共同研究等の形成に向けた研修・講習会等含む）への参加に係る旅費は、実費相当額を別途精算可能とするため、助成対象費用への計上は不要。

■ 応募要件(対象者)

マッチングサポートフェーズにおける提案者は、次の要件を全て満たしていることが必要です。

- 助成事業の責任者(主任研究者)となること。
- 助成事業の開始年度の4月1日時点において、**博士後期課程を修了、又は博士後期課程に在籍している者**で、かつ**45歳未満**であること。
- 日本国内に所在する大学等に所属しており、交付決定までに所属する大学等との間で守秘義務を含む雇用契約が締結されていること。
- 企業との共同研究等に向けた技術シーズを有し、かつ共同研究等を希望し、共同研究フェーズを目指す者。
- 助成事業において採択／不採択に関わらず、NEDO及びマッチングサポート委託機関が実施するマッチング支援を受けることを希望する者。
- 企業との共同研究等の形成に向けて、所属する機関の産学連携部門等と連携し、協力を得られる体制を構築すること。

問い合わせ先



公募要領 P.4、11

公募説明会は現時点で開催する予定はございません。

当該業務の内容、応募に係る具体的な手続き、提出書類の記載方法等のお問い合わせは、下記の連絡先までご連絡ください。

FAX又はE-mailにて受け付けます。

但し、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

イノベーション推進部 赤木、山崎

FAX : 044-520-5177

E-mail : wakate-2@nedo.go.jp

